



2023年2月14日

各位

名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
明治電機工業株式会社
代表取締役社長 杉脇弘基
(コード番号: 3388 東証プライム市場)
問合せ先: 管理部長 渥美芳英
(TEL 052-451-7661)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月14日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

2022年12月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、1日平均売買代金について基準を充たしました。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の 適合状況 及び推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	—	適合	適合	適合	0.11億円
	2022年9月末時点	—	—			0.45億円
	2022年12月末時点 (基準日)	—	—			0.38億円
プライム市場上場維持基準		—	20,000単位	100億円	35.0%	0.20億円
当初の計画に記載した計画期間		—	—	—	—	2025年3月末

※ 2021年6月末時点の適合状況および2022年12月末時点の1日平均売買代金の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※ 2022年9月末時点における1日平均売買代金は、2022年1月～2022年9月までの売買代金の合計を、東京証券取引所の営業日数で除して算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況および評価 (2021年6月末～2022年12月末)

【1日平均売買代金】

当社は、2021年5月14日に開示しました第10次中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)に基づき、企業価値の向上を実現していくことに加えて、一般的な知名度が高くない状況であることから、IR活動を強化することにより売買代金を高めることが重要と考え、活動してまいりました。

第10次中期経営計画の主要施策の一つである、「ものづくりにおけるカーボンニュートラルへの貢献」に基づき、自社製品ブランドとして、純水素型燃料電池発電機の開発を行いました。環境課題への貢献を目指した、この発電機を軸とした水素ビジネスの活動状況について、積極的に開示も行ってまいりました。IR活動については、投資家向け会社説明資料の充実を図るとともに、従来実施の少なかったIRフェアへの参画、個人投資家向け説明会および機関投資家向け1on1ミーティングなどを開催してまいりました。また、新聞、ラジオ、雑誌などメディアへの露出機会も増やしてまいりました。こうした活動の結果、知名度の向上とともに売買代金の増加につながったものと評価しております。

今後につきましても、引き続き第10次中期経営計画に基づき、企業価値を向上させていくとともに、IR活動の強化によって、安定的に上場維持基準へ適合していくことを目指してまいります。

以 上